



プロジェクターファームウェア 更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-L20002U

EB-L20000U

EB-L12002Q

EB-L12000Q

更新ファームウェアについて 3

ファームウェア Ver.2.10の概要.....	4
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.10)	4
操作方法に関する変更 (Ver.2.10)	4
ファームウェア Ver.3.00の概要.....	5
ソフトウェアに関する変更 (Ver. 3.00)	5
メニュー項目に関する変更 (Ver.3.00)	5
ステータス情報に関する変更 (Ver.3.00)	5
Art-Netチャンネル定義に関する変更 (Ver.3.00)	5
操作方法に関する変更 (Ver.3.00)	6
ファームウェア Ver.4.00の概要.....	7
オプション品に関する変更 (Ver. 4.00)	7
ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00)	7
メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00)	7
ファームウェア Ver.4.10の概要.....	8
メニュー項目に関する変更 (Ver.4.10)	8
操作方法に関する変更 (Ver.4.10)	8

ファームウェアの変更詳細について 9

オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 4.00)	10
ELPEC01をサポート	10
外付けカメラを使用する	10
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.10)	11
使用した環境設定メニューの記憶.....	11
アスペクト維持.....	11
全初期化(工場出荷状態).....	11
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.3.00)	13
カメラのエラーに関する詳細.....	13
スクリーンマッチングの自動調整機能.....	13
ポイント補正.....	13

カラーマッチングの調整レベル	14
カラーキャリブレーション有効/無効の切り替え	14
レンズキャリブレーションの実行履歴.....	15
明るさレベル	15
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.00)	16
シンプルスタッキング	16
シンプルスタッキングの動作条件.....	17
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.4.10)	18
コマンド通信、Web API設定およびPJLink.....	18
全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定.....	19
ステータス情報に関する変更の詳細 (Ver.3.00)	21
エラー情報と通知情報の追加.....	21
Art-Netチャンネル定義に関する変更の詳細 (Ver.3.00)	26
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.10)	32
レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整.....	32
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.3.00)	33
ポイント補正のポイント数変更	33
光源キャリブレーションの動作条件.....	33
操作方法に関する変更の詳細 (Ver.4.10)	34
Web APIを使ってプロジェクターを操作	34
ポイント補正の最大値変更	34

付録 35

一般のご注意	36
ご注意	36
商標について	36
著作権について	36

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

» 関連項目

- ・「ファームウェア Ver.2.10の概要」 [p.4](#)
- ・「ファームウェア Ver.3.00の概要」 [p.5](#)
- ・「ファームウェア Ver.4.00の概要」 [p.7](#)
- ・「ファームウェア Ver.4.10の概要」 [p.8](#)

ファームウェア Ver.2.10での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更（Ver.2.10）」 [p.4](#)
- ・「操作方法に関する変更（Ver.2.10）」 [p.4](#)

メニュー項目に関する変更（Ver.2.10）

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- ・使用した環境設定メニューを記憶し、前回使用した設定を素早く呼び出し可能
- ・[設定] メニューに [アスペクト維持] を追加
- ・[初期化] メニューに [全初期化(工場出荷状態)] を追加

▶ 関連項目

- ・「使用した環境設定メニューの記憶」 [p.11](#)
- ・「アスペクト維持」 [p.11](#)
- ・「全初期化(工場出荷状態)」 [p.11](#)

操作方法に関する変更（Ver.2.10）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整ができる

▶ 関連項目

- ・「レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整」 [p.32](#)

ファームウェア Ver.3.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「ソフトウェアに関する変更 (Ver. 3.00)」 [p.5](#)
- ・「メニュー項目に関する変更 (Ver.3.00)」 [p.5](#)
- ・「ステータス情報に関する変更 (Ver.3.00)」 [p.5](#)
- ・「Art-Netチャンネル定義に関する変更 (Ver.3.00)」 [p.5](#)
- ・「操作方法に関する変更 (Ver.3.00)」 [p.6](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 3.00)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- ・ Epson Projector Professional Tool Ver. 1.31

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更 (Ver.3.00)

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- ・ カメラ機能のエラーが発生したときに、エラーの詳細を表示
- ・ [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [スクリーンマッチング] > [自動調整開始] の選択時に自動調整される設定項目に [ブレンド曲線] を追加
- ・ ポイント補正機能の以下の項目を変更
 - ・ 垂直方向、水平方向のポイント数をそれぞれ設定可能
 - ・ ポイント数を最大33×33まで選択可能
 - ・ ポイント補正の補間方式を、直線または曲線から選択可能

- ・ [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [スクリーンマッチング] > [カラーマッチング] の [調整レベル] に、[全体] を追加
- ・ [カラーキャリブレーション] に有効/無効の切り替えを追加
- ・ [レンズキャリブレーション] に [実行履歴] を追加
- ・ [設定] > [明るさ設定] > [明るさレベル] で、光源の明るさの最小値を [10%] まで設定可能

▶ 関連項目

- ・ 「カメラのエラーに関する詳細」 [p.13](#)
- ・ 「スクリーンマッチングの自動調整機能」 [p.13](#)
- ・ 「ポイント補正」 [p.13](#)
- ・ 「カラーマッチングの調整レベル」 [p.14](#)
- ・ 「カラーキャリブレーション有効/無効の切り替え」 [p.14](#)
- ・ 「レンズキャリブレーションの実行履歴」 [p.15](#)
- ・ 「明るさレベル」 [p.15](#)

ステータス情報に関する変更 (Ver.3.00)

本バージョンでは、ステータス情報に以下の変更があります。

- ・ エラー情報、通知情報の詳細を追加

▶ 関連項目

- ・ 「エラー情報と通知情報の追加」 [p.21](#)

Art-Netチャンネル定義に関する変更 (Ver.3.00)

本バージョンでは、Art-Netチャンネル定義に以下の変更があります。

- ・ チャンネル14 [フリーズ] を追加
- ・ チャンネル15 [フェードイン] を追加
- ・ チャンネル16 [フェードアウト] を追加

- ・チャンネル17 [光源制御] を追加

▶ 関連項目

- ・「Art-Netチャンネル定義に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 [p.26](#)

操作方法に関する変更（Ver.3.00）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・ポイント補正中にポイント数を変更しても、補正した状態が保持される
- ・光源キャリブレーションの動作条件を変更

▶ 関連項目

- ・「ポイント補正のポイント数変更」 [p.33](#)
- ・「光源キャリブレーションの動作条件」 [p.33](#)

ファームウェア Ver.4.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「オプション品に関する変更 (Ver. 4.00)」 [p.7](#)
- ・「ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00)」 [p.7](#)
- ・「メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00)」 [p.7](#)

▶ 関連項目

- ・「シンプルスタッキング」 [p.16](#)

オプション品に関する変更 (Ver. 4.00)

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- ・外付けカメラELPEC01

▶ 関連項目

- ・「ELPEC01をサポート」 [p.10](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 4.00)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- ・Epson Projector Management Ver. 5.4
- ・Epson Projector Professional Tool Ver. 1.4

詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』および『Epson Professional Projector Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更 (Ver.4.00)

本バージョンでは、拡張設定メニューに以下の変更があります。

- ・[マルチプロジェクション] に [シンプルスタッキング] を追加

ファームウェア Ver.4.10での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- ・「メニュー項目に関する変更（Ver.4.10）」 [p.8](#)
- ・「操作方法に関する変更（Ver.4.10）」 [p.8](#)

メニュー項目に関する変更（Ver.4.10）

本バージョンでは、環境設定メニューに以下の変更があります。

- ・［その他］に［コマンド通信］、［Web API設定］および［PJLink］を追加
- ・［全初期化(工場出荷状態)］に［全初期化(ユーザー初期値)］と［ユーザー初期値設定］を追加

▶ 関連項目

- ・「コマンド通信、Web API設定およびPJLink」 [p.18](#)
- ・「全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定」 [p.19](#)

操作方法に関する変更（Ver.4.10）

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- ・Web APIを使ってプロジェクターを操作できる
- ・より高い画素数までポイント補正ができる

▶ 関連項目

- ・「Web APIを使ってプロジェクターを操作」 [p.34](#)
- ・「ポイント補正の最大値変更」 [p.34](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「オプション品に関する変更の詳細（Ver. 4.00）」 [p.10](#)
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.2.10）」 [p.11](#)
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 [p.13](#)
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.4.00）」 [p.16](#)
- ・「メニュー項目に関する変更の詳細（Ver.4.10）」 [p.18](#)
- ・「ステータス情報に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 [p.21](#)
- ・「Art-Netチャンネル定義に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 [p.26](#)
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.2.10）」 [p.32](#)
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.3.00）」 [p.33](#)
- ・「操作方法に関する変更の詳細（Ver.4.10）」 [p.34](#)

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

▶ 関連項目

- ・「ELPEC01をサポート」 [p.10](#)

ELPEC01をサポート

ファームウェアをVer. 4.00に更新すると、お使いのプロジェクターで外付けカメラELPEC01が使用できます。

▶ 関連項目

- ・「外付けカメラを使用する」 [p.10](#)

外付けカメラを使用する

オプションの外付けカメラを取り付けると、カメラアシスト機能やリモートカメラアクセスなどの拡張機能が使用できます。

拡張機能を使うことで、調整にかかる手間を軽減できます。

外付けカメラでは、一般的なカメラソリューションの利用に必要とされている下記のような作業が不要です。

- ・ 設置場所の確保や画角調整などの事前準備
プロジェクターまたはレンズユニットに取り付けて使用するため、三脚の用意や設置スペースの確保は不要です。また、ピントや画角、露光などの調整も不要です。
- ・ アクティベーション
Epson Projector Professional ToolやEpson Web Controlなどの無料のツールを導入するだけで、かんたんに拡張機能が利用できます。



Epson Projector Professional Toolのソフトウェアおよび取扱説明書はWebサイトよりダウンロードしてください。

epson.jp/download

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「使用した環境設定メニューの記憶」 [p.11](#)
- ・「アスペクト維持」 [p.11](#)
- ・「全初期化(工場出荷状態)」 [p.11](#)

使用した環境設定メニューの記憶

メニューを終了するとき、使用したメニュー設定を記憶します。前回使用したメニュー設定に再度素早くアクセスできます。

- ・【メニュー】 ボタンを押して再度メニュー画面を表示すると、前回使用したメニュー設定が選択された状態で表示されます。



以下のメニューを操作した後は初期画面に戻ります。

- ・テストパターン
- ・フォーカス、ディストーション、ズーム、レンズシフト
- ・ガンマ
- ・液晶アライメント
- ・ユーザーロゴ
- ・黒レベル調整
- ・日付/時刻設定
- ・ネットワーク設定
- ・全初期化(工場出荷状態)

- ・【戻る】 ボタンを長押しすると、一番上の階層のメニュー画面を表示します。
- ・本機の電源をオフにすると、メニュー操作は初期画面に戻ります。

アスペクト維持

〔設定〕メニューに〔アスペクト維持〕が追加されます。

変更前の設定メニュー (Ver.1.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
設定	幾何学歪み補正	曲面投写補正	形状補正
			水平リニアリ ティー
			垂直リニアリ ティー

変更後の設定メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
設定	幾何学歪み補正	曲面投写補正	形状補正
			水平リニアリ ティー
			垂直リニアリ ティー
			アスペクト維持

アスペクト比を維持しながら映像の伸縮を補正するときは、〔アスペクト維持〕を〔オン〕に設定します。

全初期化(工場出荷状態)

〔初期化〕メニューに〔全初期化(工場出荷状態)〕が追加されます。

〔全初期化(工場出荷状態)〕では、本機のすべての設定を初期化します。

初期化するには初期化専用のパスワードが必要です。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「カメラのエラーに関する詳細」 [p.13](#)
- ・「スクリーンマッチングの自動調整機能」 [p.13](#)
- ・「ポイント補正」 [p.13](#)
- ・「カラーマッチングの調整レベル」 [p.14](#)
- ・「カラーキャリブレーション有効/無効の切り替え」 [p.14](#)
- ・「レンズキャリブレーションの実行履歴」 [p.15](#)
- ・「明るさレベル」 [p.15](#)

カメラのエラーに関する詳細

変更後のエラー表示 (Ver.3.00)

カメラ機能のエラーが発生したときに、エラーの詳細を表示します。

エラーコード	状態
0x01	測定値異常
0x02	測定失敗
0x03	カメラ切替失敗

カメラ機能の動作条件について詳しくは、プロジェクターに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

スクリーンマッチングの自動調整機能

〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕 > 〔スクリーンマッチング〕 > 〔自動調整開始〕の選択時に自動調整される設定項目に〔ブレンド曲線〕が追加されます。

変更前の設定項目 (Ver.2.10)

〔明るさ設定〕、〔黒レベル調整〕（〔カラー調整〕のみ）

変更後の設定項目 (Ver.3.00)

〔明るさ設定〕、〔黒レベル調整〕（〔カラー調整〕のみ）、〔ブレンド曲線〕

ポイント補正

ポイント補正機能の以下の項目が変更されます。

- ・垂直方向、水平方向のポイント数をそれぞれ設定できます。
- ・ポイント数を最大33×33まで選択できます。
- ・ポイント補正の補間方式を、直線または曲線から選択できます。

変更前の設定メニュー (Ver.2.10)

メニュー	設定値
ポイント補正	[3x3]、[5x5]、[9x9]、[17x17]
パターン色	
初期化	

変更後の設定メニュー (Ver.3.00)

メニュー	設定値
ポイント補正	
ポイント(タテ)	[3]、[5]、[9]、[17]、[33]
ポイント(ヨコ)	
パターン色	

メニュー	設定値
補間方式	直線、曲線
初期化	



すでに「ポイント補正」で補正しているときは、補正量が多いと補間方式を変更できないことがあります。

カラーマッチングの調整レベル

「拡張設定」>「マルチプロジェクション」>「スクリーンマッチング」>「カラーマッチング」の「調整レベル」に、「全体」が追加されます。

変更前の設定メニュー (Ver.2.10)

サブメニュー	項目または設定値
カラーマッチング	調整レベル 1、2、3、4、5、6、7、8

変更後の設定メニュー (Ver.3.00)

サブメニュー	項目または設定値
カラーマッチング	調整レベル 全体、1、2、3、4、5、6、7、8

白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。「全体」を選択すると、「調整レベル」2～8の各色の色味を一括で調整できます。（いずれかのレベルで赤、青、緑の値が最大または最小になると、それ以上は調整できません。それぞれのレベルを個別に調整するときは「調整レベル」1～8を選択してください。

カラーキャリブレーション有効/無効の切り替え

「カラーキャリブレーション」に有効/無効の切り替えが追加されます。カラーキャリブレーションの自動調整を実行するには、「カラーキャリブレーション」を「オン」に設定します。

変更前の設定メニュー (Ver.2.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	カラーキャリブレーション	自動調整開始
		元に戻す
		やり直し
		ユニフォーミティー
		初期化

変更後の設定メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
拡張設定	カラーキャリブレーション	カラーキャリブレーション	オン、オフ
		自動調整開始	
		元に戻す	
		やり直し	
		ユニフォーミティー	
		初期化	

レンズキャリブレーションの実行履歴

「レンズキャリブレーション」に「実行履歴」が追加されます。レンズキャリブレーションの実行履歴を確認できます。

変更前の設定メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
拡張設定	動作設定	レンズキャリブレーション	開始

変更後の設定メニュー（Ver.3.00）

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値	
拡張設定	動作設定	レンズキャリブレーション	開始、実行履歴

変更後の設定メニュー（Ver.3.00）

トップメニュー	サブメニュー		設定値
設定	明るさ設定	明るさレベル	100%～10%

明るさレベル

「設定」＞「明るさ設定」＞「明るさレベル」で、光源の明るさの最小値を「10%」まで設定できます。

変更前の設定メニュー（Ver.2.10）

トップメニュー	サブメニュー		設定値
設定	明るさ設定	明るさレベル	100%～30%

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「シンプルスタッキング」 [p.16](#)

シンプルスタッキング

〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕に〔シンプルスタッキング〕が追加されます。

変更前の拡張設定メニュー (Ver.3.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	マルチプロジェクション	プロジェクターID
		グルーピング
		タイリング
		幾何学歪み補正
		エッジブレンディング
		黒レベル調整
		表示倍率
		初期化
		スクリーンマッチング

変更後の拡張設定メニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
拡張設定	マルチプロジェクション	プロジェクターID

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
		グルーピング
		タイリング
		幾何学歪み補正
		エッジブレンディング
		黒レベル調整
		表示倍率
		初期化
		スクリーンマッチング
		シンプルスタッキング

〔シンプルスタッキング〕では、複数のプロジェクターからの映像を1つに重ねた明るい映像をすばやく簡単に作成するための設定をします。

- ・〔ポイント補正〕: 投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に0.5画素ずつ移動させることで映像のゆがみを補正します。細部のゆがみが気になるときに、局所的に調整できます。
- ・〔自動調整開始〕: カメラアシスト機能を使って投写映像を自動で調整します。機能を実行するプロジェクターがマスタープロジェクターとなり、投写位置や形状の基準になります。



- 2台のプロジェクターはLANケーブルで直接接続してください。
- 事前に以下を実施してください。
 - 両方のプロジェクターで[ネットワーク]メニューの[DHCP]を[オン]に設定します。
 - マスタープロジェクターが投写する映像の位置、形状、ピントを調整します。マスタープロジェクターからの映像の形状は、[ポイント補正]の[Quick Corner]で調整してください。
 - シンプルスタッキングの所要時間はプロジェクターの配置によって異なります。最長で約4分かかります。

- 15Klm～19.9Klm：70インチ～350インチ
- 20Klm～24.9Klm：80インチ～400インチ
- 25Klm～29.9Klm：90インチ～450インチ
- 30Klm以上：100インチ～500インチ
- すべてのプロジェクターで同じ解像度で投写している
- [拡張設定]メニューの[設置モード]がすべてのプロジェクターで[フロント]または[フロント・天吊り]に設定されている

▶ 関連項目

- 「シンプルスタッキングの動作条件」 [p.17](#)

シンプルスタッキングの動作条件

シンプルスタッキングを実行するときは、以下の条件を満たすことを推奨しています。

- 使用するすべてのプロジェクターそれぞれに外付けカメラ、または内蔵カメラが搭載されている
- 使用するすべてのプロジェクターが、電源オンから2分以上経過している
- そりやゆがみがない平面の拡散型のホワイトマットスクリーンを使用している
- 投写面に対してプロジェクターが平行に設置されている
- 外付けカメラや投写映像を遮っていない
- 全白画面を投写したときと全黒画面を投写したときのスクリーン面上の照度比が8:1以上である（スクリーン照度が40ルクス以下の場合、以下の投写サイズが推奨値）
 - 9.9Klmまで：50インチ～200インチ
 - 10Klm～14.9Klm：60インチ～300インチ

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「コマンド通信、Web API設定およびPJLink」 [p.18](#)
- ・「全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定」 [p.19](#)

コマンド通信、Web API設定およびPJLink

[ネットワーク] > [その他] に [コマンド通信]、[Web API 設定] および [PJLink] が追加されます。

変更前のネットワークメニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	その他	セキュアHTTP
		Webサーバー証明書
		優先ゲートウェイ
		AMX Device Discovery
		Crestron RoomView
		Control4 SDDP
		Art-Net
		メッセージ配信

変更後のネットワークメニュー (Ver.4.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
ネットワーク	その他	コマンド通信
		セキュアHTTP
		Webサーバー証明書
		Web API設定
		優先ゲートウェイ
		PJLink
		AMX Device Discovery
		Crestron RoomView
		Control4 SDDP
		Art-Net
		メッセージ配信

[コマンド通信]

コマンド通信を行う際の認証方法を選択します。

[プロテクト]

ダイジェスト認証を用いて [Web制御パスワード] で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。

[互換]

Monitor/パスワード (半角英数字で16文字以内) を用いた平文認証を行うときに選択します。



Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーを組み合わせるときは、[互換] を選択してください。

[Web API設定]

Web APIで通信するときの設定をします。

[Web API]

Web APIでプロジェクターを制御するときは［オン］に設定します。

[認証タイプ]

Web API通信を行うときの認証方法を設定できます。

- ・［Open］
認証を行いません。
- ・［Digest］
API認証（ダイジェスト認証）を使用します。



詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。

[PJLink]

［オン］に設定すると、PJLinkコマンドを使用して本機を制御できます。

全初期化(ユーザー初期値)とユーザー初期値設定

［初期化］＞［全初期化(工場出荷状態)］に［全初期化(ユーザー初期値)］と［ユーザー初期値設定］が追加されます。

変更前の初期化メニュー (Ver.4.00)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	全初期化(工場出荷状態)	全初期化(工場出荷状態)

変更後の初期化メニュー (Ver.4.10)

トップメニュー	サブメニュー	項目または設定値
初期化	全初期化(工場出荷状態)	全初期化(ユーザー初期値)
		全初期化(工場出荷状態)
		ユーザー初期値設定

[全初期化(ユーザー初期値)]

［ユーザー初期値設定］で指定した設定値を反映します。

[ユーザー初期値設定]

［全初期化(ユーザー初期値)］を実行するときに反映させる値を設定します。

以下の設定の初期値を設定できます。

- ・［光源モード］
- ・［明るさレベル］
- ・［一定モード］
- ・［A/V出力設定］
- ・［待機モード］
- ・［スタンバイ確認］
- ・［メッセージ表示］
- ・［確認音］
- ・［スリープモード］
- ・［シャッタータイマー］
- ・［シャッター解除］
- ・［カラーモード］
- ・［無線電源］
- ・［DHCP］（［有線LAN］メニュー）

- ・ [コマンド通信]

ステータス情報に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「エラー情報と通知情報の追加」 [p.21](#)

エラー情報と通知情報の追加

追加されたエラー情報、通知情報に関する詳細を説明します。

変更前のステータス情報 (System) (Ver.2.00)

カテゴリー	項目	状態
Status Information	System	OK
		Warm-Up
		Standby
		Cool Down
		Temp Error
		Fan Error
		Sensor Error
		Power Error
		Internal Error
		Airflow Error
		Temp Warning
		Internal Warning
		Airflow Decline
		Power Warning
		Clean Filter
		Lens Error

カテゴリー	項目	状態
		Laser Error
		Laser Warning
		Temp Error FE
		Temp Warning FE

変更後のステータス情報 (System) (Ver.3.00)

カテゴリー	項目	状態
Status Information	System	OK
		Warm-Up
		Standby
		Cool Down
		Temp Error 09
		Temp Error 0C
		Temp Error 1D
		Temp Error 23
		Temp Error 31
		Temp Error 32
		Temp Error 33
		Temp Error 34
		Temp Error 35
		Temp Error 36
		Temp Error 37
		Temp Error 45
		Temp Error 46

カテゴリー	項目	状態
		Temp Error 47
		Temp Error 48
		Temp Error 49
		Temp Error 12
		Temp Error 3E
		Temp Error 3F
		Temp Error 40
		Temp Error 41
		Temp Error 44
		Temp Error 54
		Temp Error 2A
		Temp Error 2B
		Temp Error 2C
		Temp Error 39
		Temp Error 3A
		Temp Error 3C
		Temp Error 3D
		Temp Error 42
		Temp Error 43
		Temp Error 4A
		Temp Error 4B
		Temp Error 4C
		Temp Error 4D
		Temp Error 4E

カテゴリー	項目	状態
		Fan Error 04
		Fan Error 05
		Fan Error 18
		Fan Error 2D
		Fan Error 14
		Fan Error 17
		Fan Error 22
		Fan Error 23
		Fan Error 2E
		Fan Error 2F
		Fan Error 25
		Fan Error 26
		Fan Error 27
		Fan Error 28
		Fan Error 29
		Fan Error 2A
		Fan Error 2B
		Sensor Error 09
		Sensor Error 0C
		Sensor Error 1D
		Sensor Error 23
		Sensor Error 31
		Sensor Error 32
		Sensor Error 33

カテゴリー	項目	状態
		Sensor Error 34
		Sensor Error 35
		Sensor Error 36
		Sensor Error 37
		Sensor Error 45
		Sensor Error 46
		Sensor Error 47
		Sensor Error 48
		Sensor Error 49
		Sensor Error 4A
		Sensor Error 4B
		Sensor Error 4C
		Sensor Error 4D
		Sensor Error 4E
		Sensor Error 12
		Sensor Error 3E
		Sensor Error 3F
		Sensor Error 40
		Sensor Error 41
		Sensor Error 44
		Sensor Error 54
		Sensor Error 2A
		Sensor Error 2B
		Sensor Error 2C

カテゴリー	項目	状態
		Sensor Error 39
		Sensor Error 3A
		Sensor Error 3C
		Sensor Error 3D
		Sensor Error 42
		Sensor Error 43
		Internal Error 01
		Internal Error 02
		Internal Error 03
		Internal Error 04
		Internal Error 05
		Internal Error 06
		Internal Error 07
		Internal Error 08
		Internal Error 09
		Internal Error 0A
		Internal Error 0B
		Internal Error 0C
		Internal Error 0D
		Internal Error 0E
		Internal Error 0F
		Internal Error 10
		Internal Error 11
		Airflow Error

カテゴリー	項目	状態
		Shutter Error
		Pump Error
		Temp Warning
		Internal Warning
		Shutter Warning
		Airflow Decline
		Clean Filter
		Lens Shift Err
		Lens Error
		Power Error
		Laser Error 01
		Laser Error 02
		Laser Error 03
		Laser Error 04
		Laser Error 05
		Laser Error 16
		Laser Error 17
		Retardation Err
		Laser Error 0B
		Laser Error 0C
		Laser Error 0D
		Laser Error 0E
		Laser Error 0F
		Laser Error 15

カテゴリー	項目	状態
		Laser Warning
		Temp Error FE
		Temp Warning FE

新しいステータスの意味は以下のとおりです。

- Temp Error 09：内部高温異常です。（吸気）
- Temp Error 0C、1D、23、31-37、45-49：内部高温異常です。（電源）
- Temp Error 12、3E、3F、40、41、44、54：内部高温異常です。（光源）
- Temp Error 2A-2C：内部高温異常です。（液晶パネル）
- Temp Error 39、3A、3C、3D：内部高温異常です。（冷却システム）
- Temp Error 42、43：内部高温異常です。（排気）
- Temp Error 4A-4E：内部高温異常です。（光源電源）
- Fan Error 04：ファン異常です。（光学ユニット）
- Fan Error 05、18、2D：ファン異常です。（排気）
- Fan Error 14、17：ファン異常です。（電源）
- Fan Error 22、23、2E、2F：ファン異常です。（光源）
- Fan Error 25-28：ファン異常です。（冷却システム）
- Fan Error 29、2A、2B：ファン異常です。（液晶パネル）
- Sensor Error 09：センサー異常です。（吸気）
- Sensor Error 0C、1D、23、31-37、45-49、4A-4E：センサー異常です。（電源）
- Sensor Error 12、3E、3F、40、41、44、54：センサー異常です。（光源）
- Sensor Error 2A-2C：センサー異常です。（光学ユニット）
- Sensor Error 39、3A、3C、3D：センサー異常です。（冷却システム）
- Sensor Error 42、43：センサー異常です。（排気）

- Internal Error 01-09、0A-0C：内部異常です。（回路基板）
- Internal Error 0D、0E：内部異常です。（内蔵カメラ）
- Internal Error 0F、10、11：内部異常です。（光学ユニット）
- Pump Error：冷却システム異常です。
- Clean Filter：エアフィルター清掃通知です。
- Lens Shift Err：レンズシフト異常です。
- Power Error：電源電圧異常です。
- Laser Error 01-05、16、17：レーザー異常です。（光源）
- Retardation Err：レーザー異常です。（光源）
- Laser Error 0B-0F、15：レーザー異常です。（光源ドライバー）

Art-Netチャンネル定義の変更に関する詳細を説明します。

変更前のArt-Netチャンネル定義 (Ver.2.10)

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容
1	光量調整 (Dimming)	0% - 100%		0 - 255	0	映像の明るさを設定します。
2	シャッター制御	シャッター	開	0 - 63	128	シャッターを実行/解除します。
		無操作		64 - 191		
		シャッター	閉	192 - 255		
3	ソース切替	無操作		0 - 7	0	指定したソースに切替えます。
		HDMI		8 - 15		
		無操作		16 - 23		
		HDBaseT		24 - 31		
		DVI-D		32 - 39		
		無操作		40 - 47		
		SDI		48 - 55		
		コンピューター		56 - 63		
		無操作		64 - 71		
		BNC		72 - 79		
		LAN		80 - 87		
		無操作		88 - 95		
		無操作		96 - 255		

チャンネル	機能	動作		パラメーター	初期値	動作内容
4	レンズ位置	無操作		0 - 31	0	レンズシフトをホームポジションに移動します。
		ホームポジション移動		32 - 63		
		無操作		64 - 255		
5	水平レンズシフト	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて水平レンズシフトを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		
6	垂直レンズシフト	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	128	指定した移動量に合わせて垂直レンズシフトを実行します。
			移動量 中	32 - 63		
			移動量 小	64 - 95		
		無操作		96 - 159		
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191		
			移動量 中	192 - 223		
			移動量 大	224 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
7	電動ズーム	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	指定した移動量に合わせて電動ズームを実行します。
			移動量 中	32 - 63	
			移動量 小	64 - 95	
		無操作		96 - 159	
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191	
			移動量 中	192 - 223	
			移動量 大	224 - 255	
8	電動フォーカス	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	指定した移動量に合わせて電動フォーカスを実行します。
			移動量 中	32 - 63	
			移動量 小	64 - 95	
		無操作		96 - 159	
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191	
			移動量 中	192 - 223	
			移動量 大	224 - 255	
9	電動ディストーション	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	指定した移動量に合わせて電動ディストーションを実行します。
			移動量 中	32 - 63	
			移動量 小	64 - 95	
		無操作		96 - 159	
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191	
			移動量 中	192 - 223	
			移動量 大	224 - 255	

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
10	レンズメモリー呼出	無操作	0 - 15	0	指定したレンズメモリーを呼び出します。
		レンズメモリー1 呼出	16 - 31		
		レンズメモリー2 呼出	32 - 47		
		レンズメモリー3 呼出	48 - 63		
		レンズメモリー4 呼出	64 - 79		
		レンズメモリー5 呼出	80 - 95		
		レンズメモリー6 呼出	96 - 111		
		レンズメモリー7 呼出	112 - 127		
		レンズメモリー8 呼出	128 - 143		
		レンズメモリー9 呼出	144 - 159		
		レンズメモリー10 呼出	160 - 175		
		無操作	176 - 255		
11	電源制御	電源オフ	0 - 63	128	プロジェクターの電源をオン/オフします。
		無操作	64 - 191		
		電源オン	192 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
12	幾何学補正	オフ	0 - 15	255	幾何学補正を実行します。
		タテヨコ	16 - 31		
		Quick Corner	32 - 47		
		ポイント補正	48 - 63		
		曲面投写補正	64 - 79		
		コーナー投写補正	80 - 95		
		幾何学補正メモリー1呼出	96 - 111	0	幾何学補正メモリーを呼び出します。
		幾何学補正メモリー2呼出	112 - 127		
		幾何学補正メモリー3呼出	128 - 143		
13	ロック	操作不可	0 - 127	0	Art-Netの操作を有効/無効にします。
		操作可能	128 - 255		

変更後のArt-Netチャンネル定義 (Ver.3.00)

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
1	光量調整 (Dimming)	0% - 100%	0 - 255	0	映像の明るさを設定します。

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
2	シャッター制御	シャッター 開	0 - 63	128	シャッターを実行/解除します。
		無操作	64 - 191		
		シャッター 閉	192 - 255		
3	ソース切替	無操作	0 - 7	0	指定したソースに切替えます。
		HDMI	8 - 15		
		無操作	16 - 23		
		HDBaseT	24 - 31		
		DVI-D	32 - 39		
		無操作	40 - 47		
		SDI	48 - 55		
		コンピューター	56 - 63		
		無操作	64 - 71		
		BNC	72 - 79		
		LAN	80 - 87		
		無操作	88 - 95		
		無操作	96 - 255		
4	レンズ位置	無操作	0 - 31	0	レンズシフトをホームポジションに移動します。
		ホームポジション移動	32 - 63		
		無操作	64 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
5	水平レンズシフト	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	指定した移動量に合わせて水平レンズシフトを実行します。
			移動量 中	32 - 63	
			移動量 小	64 - 95	
		無操作		96 - 159	
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191	
			移動量 中	192 - 223	
			移動量 大	224 - 255	
6	垂直レンズシフト	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	指定した移動量に合わせて垂直レンズシフトを実行します。
			移動量 中	32 - 63	
			移動量 小	64 - 95	
		無操作		96 - 159	
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191	
			移動量 中	192 - 223	
			移動量 大	224 - 255	
7	電動ズーム	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	指定した移動量に合わせて電動ズームを実行します。
			移動量 中	32 - 63	
			移動量 小	64 - 95	
		無操作		96 - 159	
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191	
			移動量 中	192 - 223	
			移動量 大	224 - 255	

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
8	電動フォーカス	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	指定した移動量に合わせて電動フォーカスを実行します。
			移動量 中	32 - 63	
			移動量 小	64 - 95	
		無操作		96 - 159	
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191	
			移動量 中	192 - 223	
			移動量 大	224 - 255	
9	電動ディストーション	(+) レンズ調整	移動量 大	0 - 31	指定した移動量に合わせて電動ディストーションを実行します。
			移動量 中	32 - 63	
			移動量 小	64 - 95	
		無操作		96 - 159	
		(-) レンズ調整	移動量 小	160 - 191	
			移動量 中	192 - 223	
			移動量 大	224 - 255	

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
10	レンズメモリー呼出	無操作	0 - 15	0	指定したレンズメモリーを呼び出します。
		レンズメモリー1 呼出	16 - 31		
		レンズメモリー2 呼出	32 - 47		
		レンズメモリー3 呼出	48 - 63		
		レンズメモリー4 呼出	64 - 79		
		レンズメモリー5 呼出	80 - 95		
		レンズメモリー6 呼出	96 - 111		
		レンズメモリー7 呼出	112 - 127		
		レンズメモリー8 呼出	128 - 143		
		レンズメモリー9 呼出	144 - 159		
		レンズメモリー10 呼出	160 - 175		
		無操作	176 - 255		
11	電源制御	電源オフ	0 - 63	128	プロジェクターの電源をオン/オフします。
		無操作	64 - 191		
		電源オン	192 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
12	幾何学補正	オフ	0 - 15	255	幾何学補正を実行します。
		タテヨコ	16 - 31		
		Quick Corner	32 - 47		
		ポイント補正	48 - 63		
		曲面投写補正	64 - 79		
		コーナー投写補正	80 - 95		
		幾何学補正メモリー1 呼出	96 - 111		幾何学補正メモリーを呼び出します。
		幾何学補正メモリー2 呼出	112 - 127		
		幾何学補正メモリー3 呼出	128 - 143		
		無操作	144 - 175		
13	ロック	操作不可	0 - 127	0	Art-Netの操作を有効/無効にします。
		操作可能	128 - 255		
14	フリーズ	無操作	0 - 31	128	映像を一時停止/解除します。
		フリーズオフ	32 - 95		
		無操作	96 - 159		
		フリーズオン	160 - 223		
		無操作	224 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
15	フェードイン	0.0s	0 - 15	255	シャッター解除時のフェードイン時間設定
		0.5s	16 - 31		
		1.0s	32 - 47		
		1.5s	48 - 63		
		2.0s	64 - 79		
		2.5s	80 - 95		
		3.0s	96 - 111		
		3.5s	112 - 127		
		4.0s	128 - 143		
		5.0s	144 - 159		
		7.0s	160 - 175		
		10.0s	176 - 191		
		無操作	192 - 255		

チャンネル	機能	動作	パラメーター	初期値	動作内容
16	フェードアウト	0.0s	0 - 15	255	シャッター解除時のフェードアウト時間設定
		0.5s	16 - 31		
		1.0s	32 - 47		
		1.5s	48 - 63		
		2.0s	64 - 79		
		2.5s	80 - 95		
		3.0s	96 - 111		
		3.5s	112 - 127		
		4.0s	128 - 143		
		5.0s	144 - 159		
		7.0s	160 - 175		
		10.0s	176 - 191		
17	光源制御	0% - 100%	0 - 255	100	光源を制御します。
		無操作	192 - 255		

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整」
[p.32](#)

レンズキャリブレーションメッセージ表示中のフォーカス調整

レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整ができません。

変更前のフォーカス調整（Ver.1.00）

レンズキャリブレーションメッセージ表示中にフォーカス調整をすると、メッセージは消去されます。

変更後のフォーカス調整（Ver.2.10）

レンズキャリブレーションメッセージを消去せずにリモコンまたは操作パネルの【▲】【▼】ボタンを押してフォーカスを調整できます。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「ポイント補正のポイント数変更」 [p.33](#)
- ・「光源キャリブレーションの動作条件」 [p.33](#)

- ・ [設定] > [明るさ設定] > [明るさレベル] を [30%] 以下に設定しているとき。
（使用する環境温度によっては、設定以上の明るさでも動作しないことがあります。）

ポイント補正のポイント数変更

ポイント補正中にポイント数を変更しても、補正した状態が保持されます。

変更前の補正中のポイント数変更（Ver.2.10）

補正中にポイント数を変更すると、再度補正が必要です。

変更後の補正中のポイント数変更（Ver.3.00）

補正中にポイント数を変更しても、補正した状態が保持されます。

光源キャリブレーションの動作条件

光源キャリブレーションの動作条件が追加されます。

変更前の光源キャリブレーション（Ver. 2.00）

Ver.2.00で追加された光源キャリブレーションを参照してください。

変更後の光源キャリブレーション（Ver. 3.00）

以下の場合には光源キャリブレーションを実行できません。

- ・ [画質] > [光源制御] の設定や、A/Vミュート機能により、光源の明るさが一定以下になっているとき。
- ・ プロジェクターの電源を入れて10分以内。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「Web APIを使ってプロジェクターを操作」 [p.34](#)
- ・「ポイント補正の最大値変更」 [p.34](#)

Web APIを使ってプロジェクターを操作

Web APIを使ってプロジェクターを操作できます。また、ESC/VP21コマンドの一部はWeb APIで実行することができます。詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。



- ・ Web API通信には、API認証（Digest認証）を使用できます。
- ・ API認証のユーザー名は**EPSONWEB**、パスワードは「Web制御パスワード」で設定されているパスワードを入力してください。

ポイント補正の最大値変更

ポイント補正の最大値が拡大されます。広範囲でポイント補正ができるため、異なった形状のスクリーンへの投写が可能になります。

変更前のポイント補正量（Ver.4.00）

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、最大32画素まで補正できます。

変更後のポイント補正量（Ver.4.10）

各方向にそれぞれ0.5画素ずつ、最大600画素まで補正できます。

付録

次の点にご留意ください。

▶ **関連項目**

- ・「一般のご注意」 [p.36](#)

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- ・「ご注意」 p.36
- ・「商標について」 p.36
- ・「著作権について」 p.36

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」およびそのロゴはセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2021 Seiko Epson Corporation

Rev.1.0 2021.01 414122000JA

Rev.1.1 2021.10 414122001JA

Rev.1.2 2022.01 414122002JA